

2・21 戦争法の廃止を求める県民のつどい挨拶

皆さんこんにちは。日本共産党の県議会議員、斉藤信でございます。戦争法の廃止を求める県民のつどいに県内各地から参加された皆さんに、日本共産党を代表して心からの連帯の挨拶を送ります。

皆さん。一昨日、大きなニュースが届きました。野党 5 党首の会談が開かれ、4 項目の重要な内容で合意しました。その内容は、①安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする。②安倍政権の打倒をめざす。③国政選挙で現与党及びその補完勢力を少数に追い込む。④国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う—というものです。この野党 5 党首の合意は画期的なものであります。また、19 日には、野党 5 党が、戦争法・安保関連法の廃止法案を共同提出しました。4 月にたたかわれる北海道 5 区の衆議院補欠選挙でも戦争法廃止めざす野党統一候補の合意が実現しました。

戦争法廃止めざす運動にとって新たな局面が切り開かれました。国政での選挙協力については、これから具体的な協議が進められます。岩手でも全国でも日本共産党は誠実に、全力を挙げて野党共闘の実現に取り組むものです。

皆さん。こうした野党 5 党首の合意が実現した背景には、総がかり実行委員会という画期的な共闘組織がつくられ、シールズやママの会、学者・法曹界のかつてない運動の広がりがありました。戦争法廃止めざす 2000 万署名の取組はこうした闘いを発展させるものとして提起され、取り組まれているものであります。こうした運動が、自主的で主体的な運動として広がっていることは戦後かつてないことであり、新しい市民革命ともいえるべきものであります。

皆さん。憲法を無視し破壊しようとする安倍政権は、いま深刻な行き詰まりに直面しています。ゼロ金利政策と株価の暴落、GDP の後退と 4 年連続の実質賃金の減少などアベノミクスの破たんが明らかになりました。甘利前大臣の口利き疑惑は、あっせん利得罪に関わる深刻な疑惑に発展しています。丸川環境大臣、丸山議員の暴言、宮崎議員の不倫休暇問題など腐敗していると言うべき状況です。

戦争法廃止の 2000 万署名を必ず成功させ、来るべき参院選挙で戦争法廃止、安倍政権打倒の審判を下そうではありませんか。野党共闘の力で参議院で自公勢力を過半数割れに追い込むなら、戦争法の具体化を阻止するとともに、戦争法廃止の展望も切り開かれます。TPP の批准を阻止する展望も開かれるでしょう。安倍政権の暴走をストップさせることになるでしょう。

これからが、日本の政治の変革を実現する本番の取り組みです。確信と展望を持って運動を多彩に、各地域で広げましょう。2000 万署名を成功させましょう。日本共産党は 2 万人を超える集約をしていますが、10 万人を目標に、皆さんと手を携えて頑張る決意を述べ連帯の挨拶といたします。